

投射法特論Ⅱ

選択 2単位

稲垣 綾子

1. 授業の概要(ねらい)

投射法(Projective methods)とは、構造化されていない場や対象といった曖昧な刺激に対する検査対象者の自由な反応を検査者が解釈し、投射されている主題や情緒傾向、適応水準などを明らかにしていくための手法である。本講義では、各種投射法について学び、その施行法、集計法、解釈についての理解を深めるだけでなく、臨床場面でどのように利用され、心理臨床に役立てられているのかについて体験的な理解を深める。

2. 授業の到達目標

- 1) 投射法の特徴について説明することができる。
- 2) 各種投射法を実施することができる。
- 3) 得られた投射法の検査結果について解釈することができる。
- 4) アセスメントレポートやフィードバックの治療的効果とその際の配慮、注意点について理解する。

3. 成績評価の方法および基準

発表・ディスカッション50%、ロールプレイ30%、課題20%

4. 教科書・参考文献

参考文献

上里一郎 『心理アセスメントハンドブック第2版』 西村書店

5. 準備学修の内容

あらかじめ決められた授業計画に従い、各検査マニュアルを熟読すること。

6. その他履修上の注意事項

演習内で行われるワークやロールプレイでは、自分や周囲の事柄をテーマにすることがある。当事者やクライアントを理解する上では、自分自身の特性、課題について客観的に理解する視点は欠かせない。この点を十分に承知の上、臨むこと。

また、真剣に学ぼうとしている他の学生の邪魔をしないこと(私語、携帯電話等の電子機器の使用など)。個人でのワークのみならず、検査のフィードバック面接のロールプレイ、ペアワーク、グループワークを予定している。主体的、積極的な参加を望む。

本演習で検査対象者から得られたデータについては守秘義務を守ること。

この科目は臨床心理学専攻に特化した科目です。

7. 授業内容

- | | |
|--------|----------------------|
| 【第1回】 | オリエンテーション: 投射法・描画法概説 |
| 【第2回】 | パーソナリティの力動的理解 |
| 【第3回】 | 治療的アセスメント・フィードバック面接1 |
| 【第4回】 | 治療的アセスメント・フィードバック面接2 |
| 【第5回】 | TAT・CAT1 |
| 【第6回】 | TAT・CAT2 |
| 【第7回】 | PFスタディ1 |
| 【第8回】 | PFスタディ2 |
| 【第9回】 | SCT |
| 【第10回】 | バウムテスト・HTP |
| 【第11回】 | 風景構成法・想い出登校図 |
| 【第12回】 | カラージュ |
| 【第13回】 | FIT・家族粘土法 |
| 【第14回】 | 事例検討 |
| 【第15回】 | まとめ |